

① 定住人口と交流人口の拡大について

令和3年度以降の基本構想の策定案が次の12月議会に提案されると聞いております。私どもの任期もあと2年と数か月を残した状況で、今後10年間の構想について審査し採決に加わることに、責任の重大さを痛感するところでございますが、人口の問題につきましては、総合計画及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で示されている多くの施策に大きく関連するというところで、次期構想およびそれに伴う計画の審査の参考とすべく質問いたします。

(1) 現状の、観光客数と一人当たり観光消費額とその総額を伺う。

(2) 交流人口の拡大をめざす理由として、観光業については、宿泊、輸送、飲食、土産品販売など裾野が広い産業であることから、経済効果が極めて大きいなどの明確な理由で、その振興に努めている自治体が多いと考えるが、本町が交流人口拡大をめざす理由を伺う。

(3) 本年度施政方針によれば、第9次総合計画と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、計画の最終年度を迎え、仕上げの段階に入っている。計画を着実に推進し、成果につなげることは当然ですが、加えて事業の進捗を見極め、令和3年度からの第10次総合計画、次期まち・ひと・しごと創生総合戦略に円滑に引き継ぐ必要があるとしているが、現状の人口減少の状況をどう評価するか伺う。

(4) 本年6月長崎市において、建築に係る容積率を最大2倍にするとの報道がなされた、本町においても定住人口の拡大をめざして、必要に即した改革を町の最上位計画である、第10次総合計画に盛り込むべきと考えるがどうか伺う。

② 「クリーンパーク長与」の運営に係る両町の運営費の負担割合について

(1) 負担割合についてはどのような根拠によって算定されているか伺う。

(2) 現状の負担割合と、両町からの搬入量との関連性を伺う。

③ 防災無線の難聴地域対策について

町内において、防災無線が聞こえない、聞きづらいという声をよく聞く。昨今の災害が多発するような気象状況下においては、避難活動などに支障があると思うが町の対策を伺う。